福祉教育

～ 福祉学習導入 ～
「ふくし」ってなぁに？

10月25日、南小学校4年生に向けた福祉学習導入の授業が行われました。
今回は、社会福祉協議会職員が講師として伺い、「ふくし」ってなぁに？という標題のもと「ふだんのくらしのしあわせ」について児童一人ひとりが考え、全ての人が安心して暮らす社会づくり実現のために自分たちが出来る事はなんだろう！？という事を考える授業を実施しました。

～ 車いすバスケ講話・体験 ～

11月2日、シドニーパラリンピック車いすバスケット銅メダリスト塚本京子氏を迎えて講話・スポーツ用車いす体験を実施しました。

講話では、事故に遭ったあとのリハビリや車いす生活になって感じた問題点、車いすバスケットとの出会い、そして車いすバスケをとおして「あきらめずに努力する事の大切さ」等をお話しいただきました。

そのあと、スポーツ用車いすへ実際に乗って操作したり

“バスケットゴールへシュート！”

最初は、ぎこちなかった児童たちも徐々にコツを覚え、軽快に操作していました。

～ 手話教室 ～

11月10日、渋川市聴覚障害者福祉協会の方を講師に迎え耳が聞こえなくなった原因や普段の生活で困った事などについてお話いただきました。

挨拶や名前を手話で教えていただき、児童みんなで実践していました。
今回の手話教室で手話への関心や耳の不自由な方についての理解を深める事が出来たようです。